



(別添)

2024年5月30日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中国支所

News Release

～ エアコン・扇風機の事故 ～ —中国5県版—

- エアコン・扇風機を使用するシーズンが到来しました。
- エアコン・扇風機に関する火災事故が中国5県でも毎年発生しており注意が必要です。
- エアコンでは、リコール製品を使用していて発生した事故が報告されています。
- 扇風機では、古い製品を使用し、部品等が劣化していたために発生した事故が報告されています。
- 火災事故等発生防止のために、使用製品がリコール対象製品であるかどうか、劣化等に起因する動作状況等の異常があるかないかを確認し、該当する場合は、使用を控え適切な対応をとるようお願いいたします。

1. エアコン・扇風機に関する事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{※1}では、エアコン・扇風機に関する事故^{※2}は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では2019年度から2023年度までの5年間に22件^{※3}あり、全て火災案件となっています。

エアコンについては15件となっており、うち3件はリコール製品の事故でした。

扇風機については7件となっており、うち2件は古い扇風機を使用して発生した事故でした。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※2) ルームエアコン(室外機、室内機いずれも含まれます)

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1にエアコン、表2に扇風機に関する「年度別・県別」事故発生件数を示します。

表1 「年度別・県別」エアコンに関する事故発生件数 (全て火災案件)

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2019年度				1		1
2020年度			1	2		3
2021年度			1			1
2022年度			1	4		5

2023年度	1	1	1		2	5
合 計	1	1	4	7	2	15

○エアコンに関する事故15件（火災） そのうち、リコール製品からの事故3件

表2 「年度別・県別」扇風機に関する事故発生件数（全て火災案件）

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合 計
2019年度		1				1
2020年度				1		1
2021年度					1	1
2022年度						0
2023年度		1	1	2		4
合 計	0	2	1	3	1	7

○扇風機に関する事故7件（火災） そのうち、古い扇風機によるもの2件

(2) 中国5県の被害状況別 事故発生件数

表2に「被害状況別・県別」エアコン・扇風機に関する事故発生件数を示します。

表2 「被害状況別・県別」エアコン・扇風機に関する事故発生件数

被害状況※4		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合 計
人的被害	死 亡						0
	重 傷						0
	軽 傷						0
物的被害	拡大被害		2	4	9	3	18
	製品破損	1	1	1	1		4
被害なし							0
合 計		1	3	5	10	3	22

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 中国5県の事故原因区分別 事故発生件数

表3に「事故原因区分別・県別」エアコン・扇風機に関する事故発生件数を示します。

表3 「事故原因区分別・県別」エアコン・扇風機に関する事故発生件数

事故原因区分	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合 計
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの	1		1	1		3
B：製品及び使い方に問題があったもの		1				1
C：経年劣化によるもの				1	1	2

G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの			1			1
D：施工、修理、又は輸送等に問題があったもの						0
E：誤使用や不注意によるもの						0
F：その他製品に起因しないもの			1	3		4
G：原因不明のもの（G3を除く）				2		2
H：調査中のもの	1	1	2	3	2	9
合計	2	2	5	10	3	22

2. 事故事例について

中国5県で発生した、エアコン・扇風機の事例を示します。

○エアコンの事故事例（リコール対象製品による事故）

2022年6月（岡山県、50歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を汚損する火災が発生した。

【事故の原因】

制御基板上の部品間の離隔距離が十分でなかったため、基板が帯電した際に部品間で静電気放電が生じて電源ICが破壊され、過電流により基板が焼損したため事故が発生したものと推定される。

なお、製造事業者は事故の再発防止を図るため、2022年9月よりリコールを開始し、無料点検修理により対策済みの制御基板への交換を行っている。

○扇風機の事故事例（長期使用での経年劣化による事故）

2021年6月（山口県、年齢性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

扇風機を使用中、扇風機及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該製品は、長期使用（43年以上）により、モーター始動用コンデンサーの絶縁性能が低下し、内部短絡が生じて出火に至ったものと推定される。

3. エアコン関連の実験映像について

エアコンについての実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

4. リコール情報

使用製品がリコール対象かどうか確認し、リコール製品に該当する場合は、製造事業者等に連絡をとり、対応を仰いで下さい。

リコール情報は、以下のサイト等を確認して下さい。

○NITE SAFE-Lite のページでリコール検索 <https://safe-lite.nite.go.jp/>

○経済産業省リコール情報 https://www.meti.go.jp/product_safety/recall/index.html

○消費者庁リコール情報 <https://www.recall.caa.go.jp/>

5. 【参考資料】 扇風機による火災事故の防止について（注意喚起）

平成23年5月26日 報道発表資料

<https://www.nite.go.jp/data/000005122.pdf>

(本件に関するお問い合わせ先)

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎3号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所

担当者：三谷、弘田

電話：082-211-0411

以上